

4月9日 受難の主日（枝の主日）

いったい、これはどういう人だ

マタイによる福音書 21 章 1～11 節

¹一行がエルサレムに近づいて、オリーブ山沿いのベトファゲに来たとき、イエスは二人の弟子を使いに出そうとして、²言われた。「向こうの村へ行きなさい。するとすぐ、ろばが見つかり、一緒に子ろばのいるのが見つかる。それをほどこいて、わたしのところに引いて来なさい。³もし、だれかが何か言ったら、『主がお入り用なのです』と言いなさい。すぐ渡してくれる。」⁴それは、預言者を通して言われていたことが実現するためであった。

⁵「シオンの娘に告げよ。

『見よ、お前の王がお前のところにおいでになる、
柔らかな方で、ろばに乗り、
荷を負うろばの子、子ろばに乗って。』

⁶弟子たちは行って、イエスが命じられたとおりにし、⁷ろばと子ろばを引いて来て、その上に服をかけると、イエスはそれにお乗りになった。⁸大勢の群衆が自分の服を道に敷き、また、ほかの人々は木の枝を切って道に敷いた。⁹そして群衆は、イエスの前を行く者も後に従う者も叫んだ。

「ダビデの子にホサナ。

主の名によって来られる方に、祝福があるように。

いと高きところにホサナ。」

¹⁰イエスがエルサレムに入られると、都中の者が、「いったい、これはどういう人だ」と言って騒いだ。¹¹そこで群衆は、「この方は、ガリラヤのナザレから出た預言者イエスだ」と言った。

他の朗読：イザヤ 50:4～7 詩編 22:8, 9, 17～20, 23, 24 フィリピ 2:6～11

Lectio …読む

私たちは聖週間を、イエスが意気揚々とエルサレムへ入城する場面から始めます。それは象徴的なイメージと意味を持った、何と素晴らしい出来事でしょうか。

出発点がオリーブ山というのは、聖書では主が来られることと関連づけられていて意味深いです（ゼカリヤ 14 章 4 節）。

マタイはまず、イエスが乗るろばと子ろばの目を引く準備の仕方を述べます。弟子たちはイエスの指示に従い、彼らが見つかるであろうとイエスが言ったロバの親子と一緒に戻ってきます（6 節）。マタイは、これをゼカリヤ書の預言（ゼカリヤ 9 章 9、10 節、王は軍馬や戦車ではなくみすばらしいろばに乗り、救い主としてやってくるという記述）を実現するためだった、と解釈しています（4 節）。ご自身のこの世での最後の数日が何をもたらすのかについて、イエスは十分に理解しています。

人々はイエスの前の道に彼らの服を敷きます。これは勝利した王や重要な人に対する習慣的な挨拶です（列王記下 9 章 13 節）。人々は「主の名によって来られる方に、祝福があるように」と叫びます（9 節）。これは詩編 118 編 26 節の言葉です。

イエスの劇的な入城は、ファリサイ派の人々にとってはこれ以上ないほど悪い印象を与えたことでしょう。エルサレムは過越の祭りを祝うためにやって来ていた巡礼者でごった返していました（ルカ 22 章 7 節）。マタイは 21 章 10 節で、「イエスがエルサレムに入られると、都中の者が、『いったい、これはどういう人だ』と言って騒いだ」と述べています。

ファリサイ派の人々は、イエスとその教えを受け入れませんでした。そして他の人々がイエスに従うのを阻止しようと思っていました。ですから、この騒々しい英雄の歓迎は、彼らにとって最悪と言

えました。また、もっともなことですが、ローマの兵士たちが公の秩序を回復するために残忍な介入をすることを恐れていたかもしれません。

イエスの弟子たちは彼をメシアだと信じ、宗教的指導者たちは信じず、多くの人々はどちらとも決めかねていました。人々のイエスへの応答は今日でもさまざまあります。イエスとは誰でしょうか。預言者、癒す人、よい先生、それとも彼はメシア、即ち神の子でしょうか。

Meditatio …黙想する

「いったい、これはどういう人だ」この言葉はイエスがエルサレムに入った時の極めて重要な疑問でした。そして、それ以来どんな個人にとっても極めて重要な疑問です。あなたは何を信じていますか。そしてそれはなぜですか。

この引用部分の中で、弟子たちの行動から私たちは何を学ぶことができますか。

イエスがエルサレムに入った方法は、イエスとその使命について私たちに何を明らかにしているのでしょうか。

Oratio …祈る

ご自分の子を天から降らせ、人となって私たちの罪のために十字架で死ぬように、この世にお遣しになった神の御旨に感謝をささげるために、フィリピ 2 章 6～11 節を用いてみましょう。神の前で礼拝し、「イエス・キリストは主である」と賛えましょう。

Contemplatio …観想する

あなたがイエスの御前で喜びのうちに永遠に生きることができるように、イエスはあなたを救うために死んでくださいました。あなたの人生の主として、イエスを招いたことがありますか。あなたには、未だ抵抗があり喜んで受け入れられないイエスの教えの要素がありますか。今日、神に従うためにさらに必要なものは何でしょうか。